

第3回「福祉・環境のまち部会」 会議録

- 1 開催日 平成30年7月25日（水）
- 2 場所 新見市役所3階 第5委員会室

- 3 出席状況 出席7名（欠席1名）

部会長	早瀬 正弘	出席	副部会長	西田 勝江	出席
委員	大月 礼子	出席	委員	岡崎 愛	欠席
委員	田原 裕之	出席	委員	清水真理子	出席
委員	川上 博文	出席	委員	足立 卓也	出席

- 4 事務局出席者
総務部協働推進課 2名

5 議事内容

1 開会

- 2 あいさつ
部会長挨拶

3 協議

○次の2つのテレビ放送（部会長手配のビデオ）の視聴

●「ゴジカラ（5時から）村（愛知県長久手市）」

・社会福祉法人「愛知たいようの杜」の取組で、約1万坪の雑木林の中に、特別養護老人ホームやケアハウス、幼稚園などが点在する福祉複合施設。目指したのは、「さまざまな世代の人々が共に暮らし生きる、雑木林のようなコミュニティ」。

●「福祉施設：とんからりんの家（高知県土佐町）」

・高齢者のいきがいや居場所づくりを目的に、高齢者自身がスタッフとなり、健康体操やゲームなどしながら朝から夕方まで（昼食付き）過ごすことができる施設。

各委員の発言要旨は次のとおり

- ・新見で育った若者が市外へ出て行ってしまう状況である。ポイント制度の個別具体案を話し合う前に、もう少し幅広く課題を話し合い部会内で共有することから始めるべきではないか。
- ・ポイント制度を導入することによって、ボランティア意識が向上していけばいいなど考えている。

- ・ポイント制の整理は最後でいいのかなと思う。もっと、課題をすくい上げ抽出してみてもどうか。
- ・介護支援ポイント制度の導入によって、高齢者のお手伝いをすることが、ボランティアを行う現役世代の元気や健康につながればと考えている。
- ・いろんな問題点や課題を抽出していくことが大切である（移住者の視点など）。
- ・各委員も各地域の代表であるので、身近な問題点を出していきながら、地域課題を抽出することが先ではないかと思う。
- ・議論の方向としては、各地域それぞれの課題を抽出したうえで解決策を探りながら最終的にポイント制への展開という方向でいきたいと思う。次回は、各委員に地域の課題を考えて来ていただき、話し合いたいと思う。